

2024 年度 JLGC Seminar 実施報告

○日 時

- ・ 2024 年 11 月 25 日（月）09：00～10：45（日本時間：18：00～19：45）

○テ ー マ

- ・ 商店街をもっと元気に：日本と英国から学ぶ地域の取り組み（Re-imagining town centres: Local lessons from Japan and the UK）

○開催方法

- ・ ウェビナー（Zoom）

○登壇者

- ・ United Kingdom, Manchester Metropolitan University, Chair of the Institute of Place Management, Prof. Cathy PARKER MBE 氏（モデレーター）
- ・ 静岡県沼津市 都市計画部 まちづくり政策課 主査 筑城浩介 氏（スピーカー・パネリスト）
- ・ 長野県辰野町 産業振興課 商工振興係 係長 野澤隆生 氏（スピーカー・パネリスト）
- ・ 一般社団法人〇と編集社 代表理事 赤羽孝太 氏（スピーカー・パネリスト）
- ・ United Kingdom, England, Head of Economic Development at Barnsley Council, Daniel HARPER 氏（スピーカー・パネリスト）
- ・ United Kingdom, Scotland, Head of Economy and Development at Renfrewshire Council, Alasdair MORRISON 氏（スピーカー・パネリスト）

○参加者

- ・ 登録者数 430 名
- ・ 参加者数 200 名（最大接続者数）

○概 要

本セミナーは、英国等の地方自治関係者及び日系機関関係者を対象とし、英国等での日本に関する理解を深めていただくとともに、日英等の交流・協力関係の促進に資することを目的に毎年開催している。

タウンセンターや地域の商業地区は、地域社会にとって経済的・社会的な拠点であり、住民にサービスや商品へのアクセスを提供し、雇用や地域経済の活性化に重要な役割を果たすだけでなく、コミュニティの集いの場として機能し、地域の誇りやアイデンティティを育んでいる。多くの地域において歴史的な「中心」としての役割を担ってきたが、近年では、Eコマースとの競争の激化、リモートワークの普及による人通りの減少、家賃やエネルギーコストの上昇、消費者基盤の縮小といった課題に直面している。

このウェビナーでは、こうした課題を踏まえ、日本と英国の地域社会がタウンセンターや商業地区の活性化に向けてどのような革新的な解決策を打ち出しているのか、また、相互に学ぶべき点について紹介した。

冒頭、United Kingdom, Manchester Metropolitan University, Chair of the Institute of Place Management, Prof. Cathy PARKER MBE 氏から、タウンセンター変革に係るフレームワーク等について概要説明した後、以下のとおり、順次各スピーカーが事例を発表した。

静岡県沼津市 都市計画部 まちづくり政策課 主査 筑城浩介氏からは、「商店街のアーケード撤去を契機とした公共空間再編プロジェクト」をテーマに発表いただき、同市内における新仲見世商店街の取組等を共有いただいた。

続いて、United Kingdom, England, Head of Economic Development at Barnsley Council, Daniel HARPER 氏からは、「The Barnsley Story: How we transformed the town centre (バーズリー・ストーリー: 私たちが町の中心部をどのように変革したか) をテーマに発表いただき、同 Council 内におけるタウンセンターの取組等を共有いただいた。

続いて、長野県辰野町 産業振興課 商工振興係 係長 野澤隆生氏、一般社団法人〇と編集社 代表理事 赤羽孝太氏からは、「自発性を大事にして持続性につなげる」をテーマに発表いただき、同町内におけるトビチ商店街の取組等を共有いただいた。

最後に、United Kingdom, Scotland, Head of Economy and Development at Renfrewshire Council, Alasdair MORRISON 氏からは、「Cultural-led regeneration in Scotland's largest town (スコットランド最大の町における文化主導型の再生)」をテーマに発表いただき、同 Council 内におけるタウンセンターの取組等を共有いただいた。

視聴者からは、特に先進的だと考えている取組例、環境等に配慮した持続可能な開発、モデルビジネスの状況等に関する質問のほか、セミナーを通して多数の質問が寄せられ、双方の取組や考え方について共有する機会となった。

The screenshot displays a Zoom meeting interface for a seminar. At the top, the title is "Re-imagining town centres: Local lessons from Japan and the UK". The meeting is organized by CLAIR and JLGC. The interface lists the following participants and their roles:

- Opening:** Anna RUBIN, Manager of the Local Development Forum, Local Employment and Economic Development (LEED) Programme, OECD.
- Moderation:** Prof Cathy PARKER MBE, Chair of the Institute of Place Management, Manchester Metropolitan University, United Kingdom.
- Speakers 1st panel:** Kosuke TSUYUKI, Senior Staff, Urban Planning Department, Urban Development Policy Division, Numazu City, Japan; Daniel HARPER, Head of Economic Development at Barnsley Council, England, United Kingdom.
- Speakers 2nd panel:** Takao NOZAWA, Section Manager, Industry Promotion Division, Commerce and Industry Promotion Section, Tatsuno Town; Alasdair MORRISON, Head of Economy and Development at Renfrewshire Council, Scotland, United Kingdom.
- Other:** Kota AKAHANE, Representative Director, MARU to Edit, inc., Japan.

The meeting is scheduled for 25 November 2024 at 09:00 UTC, 10:00 CET, and 18:00 JST. The Zoom controls at the bottom show options for chat, reactions, mute, Q&A, and subtitles.

セミナーの様子

以上